

2018

福祉教育・ボランティア学習のつどい

in あいち・なごや

～共生文化創造への途～

開催要項

1 メインテーマ

「共生文化創造への途」

2 開催主旨

地域共生社会の実現にむけて、様々な取り組みが始まっています。とはいえ「共生社会」をつくるのは難しいことです。地域社会には、「優しい顔」と「冷たい顔」があります。身近な地域であればあるほど、共に生きるということは理想でもあり、一方で難しい現実も多々あります。とはいえ、私たちはそのことを「理想だから」で終わらせずに、どうしたら一步でも近づくことができるか、真剣に考えて行動を起こさない限り、実現はできません。そのときに大切にしたいことが「ネットワーク」です。一人が頑張るのではなく、みんなで頑張る。そのことで共生する楽しさが生まれます。そのときの感動や勇気が共生の文化を育む礎になります。

2009年、私たちは日本福祉教育・ボランティア学習学会を、ここ愛知で開催しました。そのときのテーマが「共生文化創造への途」でした。私たちは共生を「文化」にまで高めなければ定着しないと考えていました。あれから9年が経過し、2018年11月に再び、愛知で第24回大会が開催されます。今回のつどいは、大会本番にむけたプレイベントとして位置づけています。県内の多くの関係者が集い、11月にむけて愛知から発信できる内容を検討していきたいと思っています。

「福祉教育・ボランティア学習」は、福祉、教育、ボランティア、学習が、様々な織りなしい、多様な可能性を生み出します。ぜひこのつどいを通して、多くの皆さんと一緒に共生文化の創造にむけて一步を踏み出しましょう。

- | | |
|---------------------|---|
| 3 主催 | 日本福祉教育・ボランティア学習学会中部ブロック
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 |
| 4 協催 | あいち・なごや福祉教育・ボランティア学習研究会 |
| 5 後援
(予定) | 日本福祉大学、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、東海市、東海市教育委員会 |
| 6 開催日時 | 2018年2月10日(土) 13時00～17時00分 |
| 7 会場 | 日本福祉大学 東海キャンパス(愛知県東海市大田町川南新田229番地) |
| 8 参加対象 | 福祉教育・ボランティア学習に関心がある方または推進に携わっている方
市民活動や福祉活動に関わっている方、地域福祉に関心のある方、
学校教員、行政職員、社会福祉協議会職員、福祉施設職員、社会教育関連職員など
日本福祉教育・ボランティア学習学会会員 |
| 9 参加定員 | 200名 |
| 10 参加費 | 500円(学生無料) ※当日、受付にてお支払ください。 |

11 進行・プログラム

- **開会** (13時00分～13時15分)

主催者あいさつ

- **全体会** (13時15分～14時45分)

鼎談『地域と共にはぐくむ共生文化の創造 ～「みんなの楽校」の実践事例に学ぶ～』

主旨・概要

地域共生社会の実現にむけて、様々な取り組みが始まっています。一方、学校での福祉教育は広がりを見せていないのが現状です。これでは子ども達が地域の優しさや難しさを捉える事、共生社会を生きてゆく自分自身の未来について考える事にはつながらないように思います。私たちは地域の仲間である子どもたちと一緒に、どのような未来を創造していくのでしょうか。

春日井市立藤山台中学校では、「みんなの楽校」を合言葉に中学生が地域で活動しています。そんな活動を教育的に見守る教員（学校）、住民（地域）の暖かさ。子ども達がもたらす地域への愛着。私たちはこの学校と地域の営みから、共生する楽しさや、共生の文化が育まれる途を学びたいと思います。

登壇者 伊藤 孝之 さん (春日井市立藤山台中学校校長)
阿部 國枝 さん (藤山台地区社会福祉協議会 会長)

進行 野尻 紀恵 さん (日本福祉大学/日本福祉教育・ボランティア学習学会理事)

- **休憩・会場移動** (14時45分～15時00分)
- **分科会** (15時00分～17時00分 ※分科会ごと終了後に解散)

■ 第1分科会

ボランティアを通じた共生文化創造に向けて～ボランティアの本質を深める～

主旨・概要

今日のボランティア活動は福祉分野のみならず様々な分野、多様な担い手に広がり、他者のための活動にとどまることなく、自らの地域づくりにもつながる活動となっています。その一方で、安易なボランティアの活用など、ボランティアの捉え方が一部で変化している状況もあります。

そこで、本分科会では愛知県内のボランティア実践者やその活動を支援する社協のこれまでの実践の歩みや課題から、今一度ボランティアの役割や共生文化の創造について、ともに考える機会にしていきたいと思えます。

報告者 近藤 京子 さん (地域ボランティアかがやき代表)
織田 元樹 さん (NPO 法人ボラみみより情報局代表理事)
中村 弘佳 さん (名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター所長)

コーディネーター 原田 正樹 さん (日本福祉大学/日本福祉教育・ボランティア学習学会会長)

■ 第2分科会

当事者講師と共につくる福祉教育プログラム

主旨・概要

福祉教育においては、子どもや大人、学校や地域等の対象やフィールドに関係なく、プログラムづくりの段階から当事者と共に構築していくことが重要です。

しかし、普段から当事者参加の意義の確認やプログラム実施後のふりかえりや評価を丁寧に行っているでしょうか。

そこで本分科会では、福祉教育プログラムを当事者や当事者と関わる団体等に評価していただき、その視点を今後の福祉教育プログラムにどう活かしていけばよいのか参加者とともに考えます。

登壇者 調整中（障害当事者団体等）

進行 三好 宏和 さん（A J U自立の家 わだちコンピュータハウス）

■ 第3分科会

学校・社協・地域がつながる福祉教育～「ともに生きる力を育む」学びの実践から～

主旨・概要

子ども達が「ともに生きる力を育む」ためには、学校と地域がつながり、どのように福祉教育に取り組むかがカギとなります。地域の多様な方々との出会いや関わりを通じた学びの機会を作るためには、学校だけでなく地域とつながりがある社会福祉協議会と協働することで、より豊かな学びへと高まります。

本分科会では、学校・社協・地域が協働した小学校と高校の実践事例とディスカッション等を通して、「つながる意義」や「つながるために必要なこと」を共有し、「ともに生きる力を育む」福祉教育の展開について参加者とともに考えます。

報告者 森 冬起 さん（岩倉市立岩倉南小学校教諭）

石井 太一 さん（岩倉市社会福祉協議会職員）

佐々木 早苗 さん（愛知県立古知野高校生活文化科教諭）

コーディネーター 小林 洋司 さん（日本福祉大学／日本福祉教育・ボランティア学習学会特任理事）

■ 第4分科会

「地域包括ケア」の推進プロセスにおける学び合い

主旨・概要

困りごとを抱えた人を地域全体で支える「地域包括ケア」を進めるためには、住み続けたいと思う地域の姿を地域住民と行政、医療・福祉・介護専門職、NPO、教育機関等が共有し、地域の課題に基づいて支援のための仕組み・サービスを、協働・多職種連携でつくりだしていくことが重要であると言われています。

本分科会では、知多半島で「0～100歳の地域包括ケア=支え合うコミュニティづくり」をめざして、人づくりに取り組むNPO法人地域福祉サポートちたの事例を中心に紹介します。支え合うコミュニティづくりを進めるための協議や学びの場づくりとそこでの想いの共有を通じて、地域住民や多様な分野の専門職の意識や行動がいかに変化したのかに注目して、学び合いについて参加者とともに考えます。

報告者 市野 恵 さん（特定非営利活動法人地域福祉サポートちた代表理事）

山崎 紀恵子 さん（認定特定非営利活動法人絆代表理事）

認定特定非営利活動法人絆 チームにじメンバー

コーディネーター 末永 和也 さん（日本福祉大学／日本福祉教育・ボランティア学習学会）

12 交通案内・会場までのアクセス

会 場 日本福祉大学 東海キャンパス
 所 在 地 愛知県東海市大田町川南新田 229 番地
 アクセス 名古屋鉄道 常滑線・河和線「太田川駅」
 下車 西口から徒歩 5 分



※大学には一般の駐車場がありません。

公共交通機関をご利用ください。【会場周辺地図】



13 問い合わせ・参加申し込み

下の「参加申込書」の項目を記載の上、**2018年1月25日(木)までにE-mail**でお申込みください。

E-mail : fukushiforum@yahoo.co.jp

フリガナ 氏 名			参加希望	第 1 希望	第 () 分科会
			分科会	第 2 希望	第 () 分科会
参加者種別	学会会員 ・ 一般 ・ 学生		所属先		
連絡先	電話	情報保障等の要否 ・要約筆記 → 必要 ・ 不要 ・手話通訳 → 必要 ・ 不要 ・その他 (
	携帯				
	E-mail				

※記載された個人情報は、この催しの運営にのみ使用します。